

農政関係

農業復興組合は8月末までに16地区で組織され、農地保全管理活動が行われています。主要野菜の出荷制限・摂取制限解除に向けた実証栽培は、県との協議で村内27か所を実証地に選定。7月22日に栽培協力者への説明会を行い、8月からブロッコリー・キャベツ・コカブ・ホウレンソウ・コマツナの5品目の栽培実証を行っています。その他、伊丹沢地区での繁殖和牛の飼養実証や松塚地区での水田放牧実証、カスミソウの栽培、深谷地区・外内地区でのエゴマ・ソバの栽培実証なども進めています。



除染関係

7月末までの除染進捗率は、農地85%、森林97%、道路80%で、春以降、5000人を超える作業員が村内で除染を実施しています。

農地の削り取り・客土作業は、ほぼ計画どおりに進んでいます。が、地力回復工事については、進捗が遅れているようです。蔵平仮焼却炉の破砕機など前処理設備の改修を5月から開始し、現在のところ計画どおりに作業が進んでいます。10月はじめから再稼働が出来るとの報告を受けています。

27年豪雨災害復旧整備

昨年9月に発生した豪雨災害の復旧及び整備は、生活環境整備事業として65か所、再生加速化交付金事業として14か所を順次実施しています。その他27か所についても、早期に着工できるように、現在、利用できる補助事業について協議中です。

村営住宅関係

大谷地団地災害公営住宅は、第1期工事8戸が完成し、現在第2期工事8戸の関連工事を行っています。第2期分8戸の入居は来年7月からとなる予定です。桶地内住宅については、10戸建設予定で、今年度測量設計を発注済です。着工は、来年度を予定しています。

また、既存住宅のリフォーム工事ですが、全体計画51戸のうち、昨年度は8戸完了しており、今年度は、42戸の修繕工事を実施中です。



被災家屋解体

環境省では、今年度の家屋解体予定件数を545件としています。

現在の進捗状況は、完了162件、実施中61件で、進捗率約40%となっています。申請受付は終了していますが、村民から追加要望の問い合わせが90件寄せられており、環境省と協議の結果、9月に追加要望に対する説明会を開催しました。

飯野支所の業務開始

7月1日の役場帰庁を受け、本格的に飯野支所の業務を開始しました。

これに伴い、各種届出・申請事務のうち、「支所でできるもの」と、「本庁でしかできないもの」がありますが、出来るだけ村民の皆さまに、お手数をかけないように、そして「サービスの低下」を招かないように工夫して業務にあたっております。

教育委員会関係

7月1日、教育委員に星弘幸さんが着任し、新たな体制となりました。また、同日から、武藤賢一郎白石小学校教頭が教育委員会事務局に配置されています。武藤指導主事には、帰村後の本村教育の在り方や特色ある学校づくりについて御尽力いただけるものと考えています。

なお、復興に向けた教育施設等の改修につきましては、平成30年4月からの学校再開に向け、7月29日及び8月3日付で国に対し28事業、57億9千万円ほどの事業要望を行いました。今後、国と協議を進め、魅力ある学校・スポーツ公園の再開に向け整備を進めていきます。

7月26日と28日の2日間に関わり、村教職員を対象とした研修会を開催しています。東京電力ホールディングス石崎副社長、原子力規制委員会の田中俊一氏から講演をいただくなど、多岐にわたる内容となりました。

小学校夏祭り

7月31日にPTA主催の「いたてっ子夏祭り」が開催されました。

昨年に引き続き開催された手づくりの夏祭りでは、流しそうめんや射的等で、子どもと保護者が楽しい一日を過ごしました。

また、夏休み期間中は、村の子どもたちに全国の自治体や団体からの招待や体験交流事業など多くのご支援が寄せられました。あらためて感謝申し上げます。



飯館村交流センター

「ふれ愛館」開館

8月13日、飯館村交流センター「ふれ愛館」の開館記念式を開催しました。当日は、約300人が出席し、盛大に施設のオープンを祝いました。

交流センターは、全村民が利用できる施設としては、震災後初の施設となります。

300人収容のホールは、行政区をイメージした20本の丸柱や村民の再結集をデザインした木組みの天井など、村の復興への願いを込めたデザインとしました。村民の交流や憩いの場、学習の場として活用していただきたいと考えています。



「未来への翼」

「沖縄までの旅」

「未来への翼」事業は、カナダで9泊10日の日程で行われ、11名の中学生がバンクーバーや近郊の農村で、環境都市や農村の生活スタイルを勉強してきました。

次に、小学6年生を対象とした「沖縄までの旅」事業は、3泊4日の日程で、42名が沖縄の豊かな自然や文化遺産、戦争遺構などを訪れ、命の大切さや環境保全を学びました。村外の学校に転校した10名も参加し、懐かしい友達との再会を果たし、共に飯館村の仲間としての絆を確認していました。

